

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月2日(2023.3.2)

【公開番号】特開2021-159284(P2021-159284A)

【公開日】令和3年10月11日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-049

【出願番号】特願2020-63522(P2020-63522)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/028(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/028

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月21日(2023.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼の光学特性を自覚的に測定するための検眼システムであって、

前記被検眼に向けて視標光束を出射する視標呈示手段と、

前記視標光束の光学特性を変化させる矯正手段と、

前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを操作するための操作手段と、

前記操作手段に対する操作が行われることで、前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを制御する制御手段と、

前記制御手段が前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを制御した際ににおける前記検眼システムの状態を示すデータログを取得する取得手段と、

前記データログを出力する出力手段と、

を備えることを特徴とする検眼システム。

【請求項2】

請求項1の検眼システムにおいて、

前記データログは、前記被検眼に呈示した視標に関する視標情報と、前記被検眼の矯正に関する矯正情報と、の少なくともいずれかのデータログであることを特徴とする検眼システム。

【請求項3】

請求項1または2の検眼システムにおいて、

前記取得手段が取得した前記データログから、特定のデータログを抽出する抽出手段を備え、

前記出力手段は、前記抽出手段が抽出した前記特定のデータログを出力することを特徴とする検眼システム。

【請求項4】

被検眼に向けて視標光束を出射する視標呈示手段と、前記視標光束の光学特性を変化させる矯正手段と、を有し、前記被検眼の光学特性を自覚的に測定するための検眼システムを操作する検眼用コントローラであって、

前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを操作するための操作手段と

50

前記操作手段に対する操作が行われることで、前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを制御する制御手段と、
前記制御手段が前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを制御した際ににおける前記検眼システムの状態を示すデータログを取得する取得手段と、
前記データログを出力する出力手段と、
を備えることを特徴とする検眼用コントローラ。

【請求項 5】

被検眼に向けて視標光束を出射する視標呈示手段と、前記視標光束の光学特性を変化させる矯正手段と、前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを操作するための操作手段と、前記検眼システムの動作を制御する制御部と、を備えた、前記被検眼の光学特性を自覚的に測定するための検眼システムにて用いられる検眼プログラムであって

10

前記制御部に前記検眼プログラムが実行されることで、
前記操作手段に対する操作が行われることで、前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを制御する制御ステップと、
前記制御手段が前記視標呈示手段および前記矯正手段の少なくともいずれかを制御した際ににおける前記検眼システムの状態を示すデータログを取得する取得ステップと、
前記データログを出力する出力ステップと、
を前記検眼システムに実行させることを特徴とする検眼プログラム。

20

30

40

50